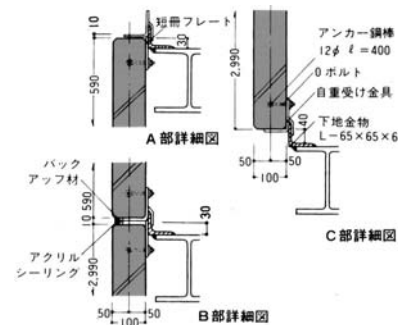
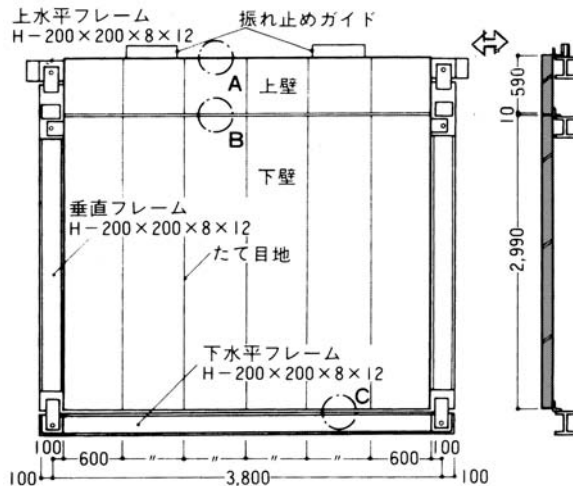


HDR構法 一般部面内変形追従性能(静的加力)

●供試体

(1) 試験体取付用鋼製フレームに、HDR 構法によりヘーベルパネルを取付け、目地部分にシーリング材を充てんして供試体とした。



上壁／外壁版(590×600×100)
 下壁／外壁版(2,990×600×100)
 目地部バックアップ材／発泡ポリエチレン丸棒 15φ
 目地充てん材／建築用アクリル系シーリング材

●試験方法

- (1) JIS A 1414(建築用構成材<パネル>および構造部分の性能試験方法)の 6.19(組立てられた非耐力用パネルの面内せん断曲げによる変形性能試験)に規定されている方法に準じて行った。
- (2) 試験は、試験体の下水平フレームを試験装置の固定台に緊結した後、上水平フレームの中心を加力点として試験体に所定の層間変形角を与えた。
- (3) 試験のプロセスは下記の通りである。

変形段階	層間変形角(R)rad
1	0→1/500→0→-1/500→0
2	0→1/300→0→-1/300→0
3	0→1/200→0→-1/200→0
4	0→1/180→0→-1/180→0
5	0→1/150→0→-1/150→0
6	0→1/120→0→-1/120→0
7	0→1/100→0→-1/100→0
8	0→1/60→0→-1/60→0

●試験結果

変形段階	層間変形角(R)rad	破損状況
1	1/500	上壁相互 下壁相互にずれ発生 他は異常なし
2	1/300	
3	1/200	
4	1/180	
5	1/150	
6	1/120	
7	1/100	
8	1/60	上壁間・下壁間にずれおよび目地部シーリングにしわが発生

■試験機関: 建材試験センター